

# 「森づくり推進プラン ～東京における持続的な森林整備と林業振興～」の概要

## 【今回のプランのポイント】

- 立地条件等に応じて「生産林」と「保全林」へ区分し、効果的な森林整備を実施
- スギ花粉発生源対策の継続的な実施による森林の循環の推進
- 公共と民間両面からの、東京の木「多摩産材」の利用拡大
- 大島の森林被害等の早期復旧

## 【基本的な考え方】

- ◇本プランの位置づけ 現行プランの計画期間は平成21～30年度の10年間であるが、国の法改正など森林・林業を取り巻く情勢が変化したことから、東京都農林・漁業振興対策審議会答申「東京における持続的な森林整備と林業振興について」を踏まえてプランを改定し、都が計画期間内に重点的に取り組む施策を明示
- ◇計画期間 平成26年度から平成35年度までの10年間

## 第1章 東京の森林の機能と林業の役割

- ・森林は多面的機能により都民生活に貢献する貴重な財産
- ・東京の木「多摩産材」の利用は地球温暖化対策に貢献
- ・伐採、利用、植栽、保育という森林の循環の一翼を担う林業

## 第2章 東京の森林・林業の現状と課題

### 1 東京の森林の現状

- ・利用時期を迎えるも、伐採が停滞し、偏った林齢構成

### 2 森林整備における現状と課題

#### (1) 立地条件に応じた森林整備の実施

- ・作業条件の不利な奥山等の整備が停滞
- ・林道付近で木材が搬出されず森林資源が未利用

#### (2) 木材価格の低迷による伐採更新の停滞

- ・収益性の低下により民間主体の伐採更新が停滞

#### (3) 大規模な自然災害への対応

- ・集中豪雨などによる自然災害への対策

#### (4) 森づくりへの都民・企業等の参画

- ・都民等の要望に応える仕組みや周知が不足

#### (5) シカ被害の継続

- ・食害により伐採更新が困難な地域が存在

### 3 林業経営における現状と課題

#### (1) 再生途上の多摩の林業

- ・進まないコスト削減、経験を積んだ技術者の不足

#### (2) 国の制度変更への対応

- ・面的にまとめる集約化が必要な森林経営計画制度の導入

#### (3) 東京の木「多摩産材」の公共利用の拡大

- ・供給体制の整備や品質向上が必要

#### (4) 民間需要の一層の拡大

- ・多摩産材を利用する意義のPRが不十分

## 第3章 持続的な森林整備と林業振興に向けた施策展開

### ◆基本的視点1 効率的な森林整備と安定的な木材供給

### ◆基本的視点2 民間が有する力の幅広い活用

### 戦略1 多様で包括的な森林整備の推進

#### (1) 森林区分の明確化

- ・人工林について、木材生産を優先する「生産林」と公益的機能の発揮を優先する「保全林」に区分した上で、目指す森林の姿に応じた森林整備を推進

#### (2) 森林の循環の推進

- ・現行のスギ花粉発生源対策の着実な実施と、公的関与による伐採更新の推進
- ・企業等からの支援の拡大に向けたメニューの多様化

#### (3) 森林被害等への的確な対応

- ・大島の災害復旧など治山事業の着実な推進
- ・シカ被害への対策

### 戦略2 効率的な林業経営の実現

#### (1) 林業のコスト削減の推進

- ・伐採搬出や植栽、保育におけるコスト削減策を、大学や研究機関等と連携して検証・確立
- ・路網整備の促進（林道・森林作業道）

#### (2) スケールメリットを活かす集約化の推進

- ・森林経営計画の策定促進
- ・森林境界の明確化と施業集約化の推進

#### (3) 林業労働力の確保と技術者の育成

- ・伐採搬出や森林作業道整備を担う技術者の育成
- ・集約化を担う人材の育成
- ・新規就業者の確保を支援

### 戦略3 東京の木「多摩産材」の利用拡大

#### (1) 公共利用の拡大

- ・都と区市町村による公共建築物等での利用推進
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設での多摩産材利用の検討

#### (2) 民間需要の更なる開拓

- ・新築住宅に加え、内装材やリフォーム等での利用を推進
- ・製品開発の推進による多様な木材利用
- ・様々な機会を活用した利用拡大PRの推進

#### (3) 供給体制の整備

- ・利用者と供給者をつなぐ情報提供窓口を設置
- ・品質及び供給能力向上への支援

#### (4) 次代を担う子供たちを中心とした木育活動の推進

- ・子供たちが利用する施設での積極的な多摩産材利用
- ・森林の役割や多摩産材の利用意義等を幅広くPR
- ・木とふれあう機会の提供

### 戦略4 都民や企業等との協働による森づくりの促進

#### (1) 都民や企業等の要望に応えた仕組みの構築と多様化

- ・都民や企業等の森づくりへの参画を促進
- ・「とうきょう森づくり貢献認証制度」の充実

#### (2) 多様な主体との協働による森づくり

- ・「花粉の少ない森づくり運動」の推進
- ・多様な主体と連携してコスト削減や製品開発を推進